記者発表資料

がんばろう！東北

平成　２４年　８月３１日
仙 台 河 川 国 道 事 務 所

東日本大震災に被災した岩沼市で初めて「東日本大震災パネル」と排水ポンプ車を展示します。

～岩沼市における津波避難訓練・防災イベントの一環として～

国土交通省仙台河川国道事務所では、被災者、被災地への思いを忘れないため、大震災と戦った日々を風化させないための取組みとして、国土交通省の取組みを交えた【東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録「忘れない。」】パネル展を実施しているところです。
このたび岩沼市で開催する津波避難訓練・防災イベントに合わせて、パネル展と仙台空港エリア周辺の浸水等に活躍した排水ポンプ車を展示することになりました。東日本大震災で被災した市町村の避難訓練・防災イベントに合わせパネル等を展示するのは初めてとなります。

【東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録「忘れない。」】パネル展

１．日　　時・・・・平成２４年９月１日（土）１０：３０～１３：００
２．場　　所・・・・岩沼市立玉浦中学校（岩沼市の防災イベントの一環）
　　別添のとおり（駐車場については、岩沼市に問合せください。）
３．今後の予定
　①平成２４年９月７日～１１月２５日
　　宮城県図書館（特別展の一環）
　②平成２４年１０月２８日
　　栗原市若柳総合文化センター（2012栗原市産業まつりの一環）

４．常設展示場・・・・道の駅「三本木」、あ・ら・伊達な道の駅

詳細につきまして、下記にお願います。
＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

お　問　い　合　わ　せ　先

【東日本大震災パネル展・排水ポンプ車に関すること】
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
TEL　０２２（２４８）４１３１（代）
計画課長　　熱海（あつみ）　裕章（ひろあき）　（内線261）
【津波避難訓練・防災イベントに関すること】
岩沼市　総務部　防災課
TEL　０２２３（２２）１１１１（代）
防災課長　　上田（うえだ）　正典（まさのり）　（内線541）

別添

展示会場





駐車場について岩沼市防災課に問い合わせください。

TEL　022－22－1111

【東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録「忘れない。」】パネル展について

仙台河川国道事務所では、被災者、被災地への思いを忘れないことや、大震災と戦った日々を風化させないための取組みとして、国土交通省の取組みを交えた【東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録「忘れない。」】パネル展示を開催しています。

○主なパネルの内容











○パネル展の状況



▲仙台市中央市民センター 1F 展示フロア



▲青葉通り地下道展示スペース

○常設展示場



▲道の駅「三本木」展示場



▲あ・ら伊達な道の駅　展示場

○排水ポンプ車



排水ポンプ車(排水能力毎分30m^{3}の水中モータ式)

（参考）岩沼市の記者発表とチラシ

平成２４年８月２４日

報道各社ご担当者　各位

岩沼市 総務部 防災課
東北大学災害科学国際研究所

岩沼市における津波避難訓練・防災イベントの実施について

拝啓　残夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災により、岩沼市では、被災した沿岸市町村では最も高い割合となる市域の約48％（約29平方キロメートル）が浸水しました。従来の防災訓練では、津波を想定した訓練はほとんど実施されていなかったことから、このたび、東北大学災害科学国際研究所監修のもと、震災後初となる津波を想定した総合防災訓練を実施いたします。

訓練では、地域住民が、設定された３カ所の避難場所を目指し避難を行います。また、避難訓練終了後には、地域住民を対象とした防災イベントを開催し、広範な住民の参加を促し、防災意識の向上を図ります。

ご多忙中と存じますが、ぜひご取材いただきたく、何卒よろしくお願いいたします。

敬具

記

1、名称：　岩沼市津波避難訓練・防災イベント

2、目的：　東日本大震災により発生した大津波を教訓とし、従来実施されることの無かった津波を想定した避難訓練を実地に行う。これにより、津波に対する防災・減災体制の確立と市民の防災意識の向上を図る。

3、日時：　平成２４年９月１日（土）１０：００～１３：００
・10：00～　津波避難訓練（岩沼市東部エリア全域）
・10：30～13：00　防災イベント（玉浦中学校体育館）
※セレモニーは、11：30より玉浦中学校体育館で行います。
※当日11：00より、イベント会場内にて報道受付を開始いたします。

4、実施体制：　主催／岩沼市
共催／「カケアガレ！日本」企画委員会
協力／東北大学災害科学国際研究所、陸上自衛隊、NEXCO東日本、河北新報社、エフエムいわぬま
後援／復興庁宮城復興局、国土交通省東北地方整備局、宮城県
協賛／企業各社

以上

別紙１

岩沼市津波避難訓練・防災イベントの主な特長

① 東北大学災害科学国際研究所が、訓練内容の調査・分析を行います。

今回の訓練は、東北大学災害科学国際研究所（2012年4月設立、所長：平川新、副所長：今村文彦、http://irides.tohoku.ac.jp/）協力により実施します。訓練時に地域住民へのアンケート調査を行い、それに基づく分析結果・今後の課題等について報告書をまとめます。報告書については、岩沼市・防災計画策定の際の資料として活用する予定です。

② 避難場所として「仙台東部道路」を使用します。

東日本大震災時には、緊急輸送道路としてだけでなく、「津波よけ」の機能も発揮した仙台東部道路。岩沼市では、震災後、高速道路である仙台東部道路の数カ所に、緊急避難用の非常階段を設置いたしました。今回の訓練では、NEXCO東日本協力のもと、地域住民を実際に仙台東部道路へ誘導する訓練を行います。

＜非常階段設置場所（★印）＞





※画像はイメージです。

③ 訓練終了後に、防災イベントを実施します。

訓練終了後には、岩沼市立玉浦中学校体育館で、防災イベントを実施いたします。協賛企業各社・市民団体による防災関連ブースや、陸上自衛隊による炊き出しなど、地域住民が楽しみながら防災に役立つイベントを実施予定です。

以上

